

資格取得の経験を 将来の仕事に役立てたい



第一工科大学
浅野 光希

この度は建築積算士補の資格取得とともに、建築積算士補優秀賞をいただけたことを大変光栄に思っています。

今回、執筆の機会をいただきましたので、私が建築業界に進もうと思ったきっかけや建築積算士補の資格試験を受験した理由と、最後に今後の将来について書かせていただきたいと思います。

はじめに私が建築業界に進もうと思ったきっかけは高校2年生の終り頃です。私は普通科の高校に通っていましたが、この先自分が何をしたいのか決めることができずに悩んでいた時期がありました。その時、亡くなった祖父の話をもがしてくれました。何気なく使っていた居酒屋の建物や道路沿いにある美容室は祖父が設計したものだとなりました。

祖父は私が小学4年生の時に亡くなりましたが、祖父の設計した建物は今でも建っていて、たくさんの方が利用してくれます。そのことにとっても魅力を感じ、建築業界に進もうと思いました。大学で建築を勉強した今、祖父の建物を見ると斬新で古さを感じさせない建物なので、今はもっと建築業界で頑張ろうと思っています。

次に私が、建築積算士補の試験を受験した大きな理由は、ハウスメーカーの営業としてお客様に満足していただける仕事をしたいと考えたためです。

そのきっかけとして大学の建築コストマネジメントという講義がありました。元々、お金に関することが好きだったのでその講義を受けていくに連れて積算の面白さや重要性を知りました。そしてそんな仕事に携わりたいと思いました。

さらに第一工科大学が“建築積算士補”資格の認定校だったことにより、講義から受験までを通して本校で受けることが可能だったことも理由の一つです。しかし、専門の勉強なのでモチベーションが下がることもありました。それでも今頑張れば将来自分のやりたことができると信じ努力をしました。

私は机に向かって勉強するのが苦手なのでYouTubeを利用しながら、自分のわからないところを覚えるようにしました。それでもわからないことは先生に質問しに行き、丁寧に教わりました。その結果、高得点で合格することができました。先生から合格とともに最優秀賞をいただいたと聞いたときはとても嬉しかったです。

最後に私の今後の将来について書かせていただきます。私は現在大学4年生で就職活動をしています。ハウスメーカーの営業としてお客様にあったご提案をできたら良いと考えております。建築物の質を高く保ちつつ、コストはなるべく抑えられるようにコスト面からお客様に役立てたいと考えています。

なぜなら家を建てることはお客様の人生最大の買い物だからです。そのような重要な場面に私も携わっていきたいです。私が建築積算士補の取得のために頑張ってきたことは絶対に無駄にはならないと思います。この経験をしっかりと将来の仕事にも役立てていきます。

最後になりましたが、今回私にこのような貴重な機会を与えてくださった方々に感謝の意を表したいと思います。本当にありがとうございました。